

## 1. はじめに

アップグレード操作を実行する前に、RM-CM の show version コマンドを実行し、現在 RM-CM で稼動しているソフトウェアのバージョンをご確認下さい。"Software Version"の項目が最新リリースのものである場合は、アップグレードの必要はありません。

また、対象となるバージョンは 4.X.X になります。

最新リリースと旧リリースとの相違については、各リリースに対して提供される RM-CM リリースノートに記載されています。あらかじめ機能的な相違をご確認の上、アップグレード作業を行ってください。

RM-CM ソフトウェアのアップグレードは、http と tftp の 2 通りあります。

## 2. tftp 経由でのアップグレードの実行

### 2.1 tftp サーバの準備とダウンロード

対象 RM-CM から LAN(TCP/IP)接続可能な tftp サーバを準備します。

<参考情報>

Linux の場合は tftpd。

Windows の場合は、さと氏作成のフリーウェア” TFTP サーバプログラム TFTPDP”(下記のページ参照)等をインストールしてください。

<http://www.vector.co.jp/soft/winnt/net/se377860.html>

※本ソフトウェアはルータレック・ネットワークスのサポート対象外です。

次に、弊社ホームページの「アップデートダウンロード」ページから、最新リリースのアップデートファイルをダウンロードし、tftp サーバが管理するディレクトリにコピーしてください。

管理ディレクトリについては、tftp サーバの説明を参照ください。

アップデートファイルには機種毎に異なりますので、ダウンロードするファイル指定の際は、お間違いないようご注意ください。

以下の実行例は、アップグレード対象を CM1200 として記述されています。

なお、Linux の tftp サーバの場合、アップデートファイルには public なリード権限が必要です。具体的には、以下の操作が必要です。(tftp の管理ディレクトリが /tftpboot、アップデートファイル名が rmcm1200\_421.rm2 の場合):

```
cp rmcm1200_421.rm2 /tftpboot
chmod 644 /tftpboot/rmcm1200_415.rm2
```

### 2.2 tftp でのアップグレードの実行

- ① アップグレード対象とする RM-CM にログインした後、enable コマンドを実行して特権モードに移行します(以降、太字が入力の必要がある文字を表します)。

```
rmc@myrmc> enable
password:
[rmc@myrmc]#
```

- ② upgrade tftp コマンドを実行し、tftp サーバ名/IP アドレスと、アップグレードファイル名を入力します。確認メッセージに”y”を入力するとファイル転送が開始されます。アップグレードが正常に終了すると、RM-CM は自動的に再起動します。

```
[rmc@myrmc]# upgrade tftp 192.168.10.170:rmcm1200_421.rm2
```

```
Checking configuration...
```

```
The RMC will reboot after upgrade.
```

```
Are you sure to upgrade ? [y]es/[n]o: y
```

```
Reading(CTRL-C to stop)...
```

```
Received XXXXXXXXXX bytes in 22.8 seconds
```

```
Upgrading...
```

```
Leave the RMC untouched until done...
```

```
Upgrade done. Proceed to reboot...
```

```
ok
```

```
[rmc@myrmc]#
```

以上で RM-CM アップグレード作業は終了となります。

### 3. http 経由でのアップグレードの実行

- ① RM-CM が外部のインターネットに http 接続可能であることが条件となります。
- ② アップグレード対象とする RM-CM にログインした後、enable コマンドを実行して特権モードに移行します(以降、太字が入力の必要がある文字を表します)。

```
rmc@myrmc> enable
```

```
password:
```

```
[rmc@myrmc]#
```

- ③ upgrade http コマンドを実行します。アップグレードファイルの URL や Proxy 情報等の入力後、確認メッセージに”y”を入力するとファイル転送が開始されます。ファイル転送が終了するとアップグレードが開始されます。アップグレードが正常に終了すると、RM-CM は自動的に再起動します

```
[rmc@myrmc]# upgrade http http://www.routrek.co.jp/library/support/download/rmc/rmcm1200_421.rm2
```

```
Checking configuration...
```

```
The RMC will reboot after upgrade.
```

```
Are you sure to upgrade ? [y]es/[n]o: y
```

```
Reading(CTRL-C to stop)...
```

```
Upgrading...
```

```
Leave the RMC untouched until done...
```

```
Upgrade done. Proceed to reboot...  
ok  
[rmc@myrmc]#
```

以上で RM-CM アップグレード作業は終了となります。

#### 4. 最終確認と注意事項

##### ▼既存設定情報の確認

既存の設定情報はアップグレード後も保持されていますが、アップグレード完了後は対象 RM-CM に再接続を実行し、設定情報をご確認ください。

また、製品に関するお問い合わせやテクニカルサポートについては、下記の弊社サポートページをご覧ください。

<http://www.routrek.co.jp/support/>